

令和6年6月10日

五戸町議会第4回定例会 一般質問通告一覧表

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1	一 問 一 答	高 奥 浩 明	1. 第8期及び第9期 五戸町高齢者福祉 計画・介護保険事業 計画について	『第8期及び第9期五戸町高齢者福祉計画・介護保険事業計画』によると、在宅介護生活中で施設等への入所・入居を「検討中」又は「申請済み」の高齢者は 第8期 約5人に1人、第9期 約2人に1人 「通所系・短所系のみ」のサービスを利用している要介護3以上の高齢者は 第8期25.0%、第9期51.5% (+26.5ポイント) 要介護3以上の高齢者の単身世帯は 第8期6.0%、第9期38.7% (+32.7ポイント) 以上から、介護サービスの需要が高まっていることが推測される。 『第8期及び第9期五戸町高齢者福祉計画・介護保険事業計画』について伺う。 (1) 第8期五戸町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の成果について (2) 第9期五戸町高齢者福祉計画・介護保険事業計画の重点施策について

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			2. 健康・生きがいきりや介護予防の支援について (基本目標Ⅰ)	ともすれば閉じこもりがちになる高齢者にとって、介護予防の施策として行われている「まちカフェ」、「通いの場」は重要な施策である。 第8期中令和元年度実績と第9期中令和4年度実績を比較すると「まちカフェ」参加者は－23.5％に対して「通いの場」参加者は309.6％と3倍以上増えている。 「まちカフェ」、「通いの場」について伺う。 (1) 「まちカフェ」の目的、概要、参加者減少の原因、第9期の施策について (2) 「通いの場」の目的、概要、参加者急増の理由、「まちカフェ」との違いについて
			3. 高齢者の暮らしを支える支援体制について (基本目標Ⅱ)	高齢者への介護について、第8期と第9期を比較すると、家族等の介護頻度週2日以下の高齢者世帯は単身世帯では＋20.0ポイント(50.0％→70.0％)、夫婦のみ世帯では＋28.3ポイント(21.7％→50.0％)と、介護頻度が減っている。 また、仕事と介護の両立が難しいと感じている介護者は、フルタイム勤務者では＋2.0ポイント(7.7％→9.7％)とほぼ同等であるのに対し、パートタイム勤務者では＋16.5％(10.2％→26.7％)と、主婦の負担が大きくなっていると推測される。 高齢者の生活を支援、介護者の負担を減らすために多様な主体による生活支援サービスが重要になっている。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				サービス開始に向けて検討中である住民主体による支援、及び配食サービスについて伺う。 (1) サービス開始の検討中である住民主体のボランティア事業の目的、概要、今年度の施策について (2) 配食サービス事業の目的、概要、今年度の施策について
			4. 持続可能な介護保険事業の運営について (基本目標Ⅳ)	生産年齢人口が減少する中において、いかにして外国人材を含めた介護人材を確保するかは重要な課題である。近年の円安で日本を選択する外国人技能実習生が減っており、国内での取り扱いになっている状況である。その中で五戸町を選んでもらうにはどのような施策が望ましいのか。 また、落ち着いてきたとはいえ、新型コロナウイルス(c o v i d - 1 9)をはじめとする感染症はどの施設においても業務に多大な影響を及ぼすため、いまだに予断を許さない状況である。 介護人材の確保、及び感染症発生時の援助について伺う。 (1) 介護人材確保の今年度の具体的な施策について (2) 外国人技能実習生に五戸町を選んでもらうための施策について (3) 感染症発生時の介護サービス事業者に対する具体的な援助について

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2	一 問 一 答	豊 田 孝 夫	1. 消滅可能性自治体からの脱却に向けた方策について	本年4月24日に発表された人口戦略会議によると、全国1,718自治体中、消滅可能性自治体が744自治体に及び、当町もその中に入っている。深刻な人口減少を回避するにはいかなる対策を行うべきか。人口増加対策は喫緊の課題であり、自立持続可能性自治体となる方向性を示していただきたい。 ついては次の項目についてお答え願いたい。 (1) 当町での人口増加対策としてどのような施策を行っているか。 (2) 出生数を上げることも直接人口増加につながると思うが令和3年度から5年度までの出生数はいかがであったか。また、出産に伴う経費の負担はどのようになっているか。 (3) 移住環境、雇用環境を整えて移住者を呼び込みやすくすることも効果的と思うが移住対策はどのようになっているか。
			2. 寄附された物件の有効活用について	当町において個人、及び企業から寄附された物件があるが、どのような活用がなされているか、又は活用しようとしているか。 ついては次の項目についてお答え願いたい。 (1) 過去10年で何件の寄附された物件があったか。土地、家屋、金員別で示していただきたい。また、土地、家屋は面積と評価額も併せて示していただきたい。 (2) 土地、家屋、金員はどのように活用しているか。また、活用できずにいる寄附された物件はないかどうか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				(3) 寄附された物件の有効活用について、その活用方法で地域住民の意見を参考にする場を設けているか。

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3	一 問 一 答	尾 形 裕 之	1. 五戸町在住高校生 支援について	町は五戸町外の高校に通う高校生に 対して年4万円の補助をしているが、そ の根拠は何か。また、八戸市と十和田市 に通う高校生が同じ金額でいいものか。
			2. 災害時の避難所に ついて	五戸町が壊滅的な被害を受けたら町 は避難所をどうするか。そして、その対 策等はどうか。
			3. 公職選挙法（寄附） について	議員は当然だが、町職員・町民も公職 選挙法（寄附）について知識があった方 がいいと考える。セミナーを開催しては どうか。